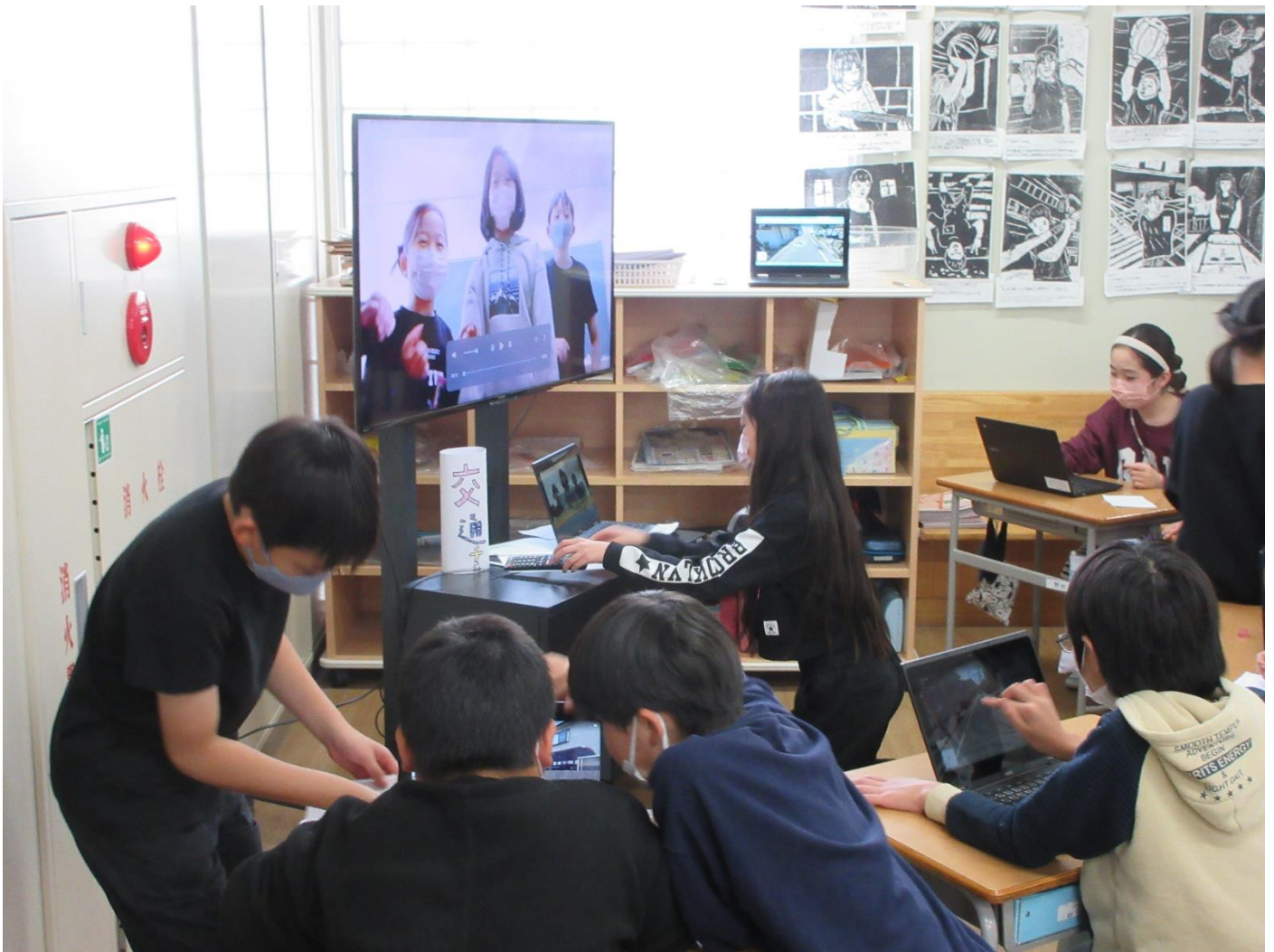


令和4年度



川崎市立東高津小学校

教育活動報告



令和5年2月28日(火)

・教育関係法令
・学習指導要領等
・かわさき教育プラン

学校教育目標

考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩

- ・自分も相手も大切にする子
- ・夢や希望をもって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・自分らしく健康な子
- ・地域とつながり貢献する子

今年度の重点目標

A 多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

B よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

C 主体的、対話的で深い学びを実現しよう

D 誰もが自分らしく安心して心身を育む環境をつくろう

E 安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

重点にかかると具体的な取組

- ① 子ども一人一人の自己肯定感や有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や、互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てる。
- ② 「なりたい自分」を大切にし、人としての在り方生き方の軸を大切にしていくなことを通して、様々な問題を乗り越えられる生きる力を育てる。
- ③ 自分のめざす「ひがたかっ子」になるための目標設定や振り返り等を行い、「キャリア在り方生き方教育」の推進を図る。
- ④ 共生＊共育プログラムを推進し、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てる。

- ① よりよい生活を送るために、目標に向かって努力する子どもを育てる。
- ② 「自分が」や「自分たちが」と本気になれる対象を見付け、子どもたちが主体的に考えて行動に移せるように、一人ひとりの意見を聞いたり、伝えたりする場を設ける。
- ③ 挨拶やきまり、社会のマナー等の大切さを知り、進んで守ろうとする子どもを育てる。
- ④ 学校生活をより豊かなものにするために、学校や学年、学級といった集団全体を見て、自分ができることをしようと子どもを育てる。
(実行委員や係活動など)
- ⑤ 子どもの意見が反映されるように委員会活動やクラブ活動での話し合いを充実させ、連携し合ってより良い学校をつくる場の設定をする。
- ⑥ 子どもの心身を育む食育の推進、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進する。

- ① 学校教育目標の実現に向けて、校内研究を通して、協力して教材研究を行い、授業を公開することで互いに学び合い、授業力の向上を目指す。
- ② 研究を通して育てたい力を明確にし、育成を目指す。
- ③ 学年ごとに研究の視点となる「めざす子どもの姿」を明確にして取り組む。
- ④ 校内研究「国語科」を通して、「話す」「聞く」力を育てていく。

- ① 子どもの声に耳を傾け、面談の時間を確保し、いじめ・不登校の早期未然防止に努め、チーム体制での対応を行う。
- ② 対人関係等で困り感があったり、個別に支援が必要だったりする子どもたちに対して個に応じた支援を充実させる。
- ③ 学年・学校全体で子どもたちにかかわることを意識し、全教職員による児童理解の上に立った児童指導・支援の体制を充実させる。
- ④ 保護者や地域の方が話しやすいように心がけ、全教職員で連携して、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤ 学校巡回カウンセラーと協力して、児童理解や教育相談を充実させていく。

- ① 授業参観や学校・学年行事等を公開し、学校ホームページ、学校・学年だより、懇談会等の充実を努め、積極的に情報の発信を行う。
- ② 安全な学校生活を送れるように保護者・地域と連携し危機管理意識を高めると共に、子ども自らが命を守る防災・防犯教育を推進する。
- ③ 情報機器等の危険を意識して利用する情報モラル教育を家庭・地域と連携して推進する。

多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

- 一人一人の子どもの自己肯定感、有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てるために、日常の授業や行事などの際に一人一人が活躍の場をもてるようにしている。子どもの権利条例について学ぶなど、人権教育を各学年で学校公開週間に取り組んでいる。職員の人権教育研修も行い、人権意識を高めるようにしている。
- 他者と意見が食い違ったり困難なことがあったりしても「なりたい自分」を大切にしたり相手を思いやったりする態度を大切にするために、学校教育目標をもとに、学年・学級、自分の目標を立てて、年間を通して掲示して折々に振り返りをして定期的に改善しながら取り組んできた。
- 各教科でも「キャリア在り方生き方教育」を意識して授業を実践してきた。キャリアノートを活用できるところを検討し、指導計画をつくり、各学年で取り組んだ。キャリア・パスポートには自分の成長を知ることができるようにどの記録を残すのかを検討して高等学校まで確実に引き継げるようにした。
- かわさき共生*共育プログラムでは感染予防をしながら行えるように検討して計画的に行い、仲間づくり、友だちづくり、自分づくりについて体験してきた。「キャリア在り方生き方教育」とともに今年度は授業の様子を学校だよりに掲載した。来年度は参観、体験の機会をもてるようにしたい。
- ペア学年を中心とした異学年交流活動では、感染拡大防止の対策を配慮しながら名刺交換や作品鑑賞、運動会の応援、学習発表の日のリハーサル鑑賞などの交流を行った。

よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

- よりよい生活を送るために、目標を立て、その目標に向かって努力する子どもを育てるために、学年目標と学級目標を決めた。目標を掲げることで、常に意識しながら生活することができた。また、学校全体のよりよい生活を考えるために、運営委員会や代表委員会の活動を大切にしてきた。
- 行事など集団で活動するときには、それぞれが目標をもち、その目標に向かって努力できるように支援したり価値付けしたりしながら振り返りを大事にし、次の活動へつなげるようにしてきた。特に学級活動では、話し合いを重ねながら集団の課題として合意形成を図りながら解決できるようにしたり、自分の課題に対して解決方法や目標を立てたりするなど一人一人が意思決定できるようにした。個人から集団、集団から個人へと目標に向けて努力できる手立てとなった。
- 学校生活を充実したものにするために集団全体を見て自分ができることをしようとするために、係活動に重点を置いて取り組んだ。活動予定を子どもたちで考え、ほかの係から活動の創意工夫のヒントを得て取り組んだ。活動のめあてを「学級目標」に向かって、自分のクラスをよりよくするために何ができると考えることで、クラス全体にもよい影響を与えることができた。
- 委員会活動では話し合いを充実させ、連携し合ってよりよい学校をつくろうと取り組んだ。各委員会が役割を意識し、創意工夫しながら学校をよりよくしていくための取り組みを考え、集会や行事に関連した活動、代表委員会の活動を通して考えられた活動を行うことができた。また、クラブ活動でも異学年の子ども同士で協力し、学校生活の充実に向けて計画を立て分担するなど、異学年交流も大切にすることができた。
- 子どもの心身を育む食育を推進していくために栄養教諭が、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進するために養護教諭が授業を行った。そのため、一人一人が自分の健康について考えながら学校生活を送ろうとする様子が見られるようになってきた。

主体的、対話的で深い学びを実現しよう

研究テーマ

「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」を体現する子どもたちを目指して
～話す・聞く力を育てる～

- 昨年度までおこなっていた特別活動（学級活動）の研究の中で、話合いに参加するには、まず自分の考えが伝わるように話したり、他者の話をしっかりと聞いたりする力が必要だという課題が見えてきた。そこで今年度は、国語科の授業を通して「話す・聞く力」を育てることを研究の目標にしてきた。
- 自分の考えを話したくなるような学習課題を設定したり、話合いが活発になるような思考ツールの活用をしたりする授業の工夫について、研究授業を通して理解を深めてきた。各担任が学んだことを自身のクラスで実践を重ねることにより、子どもたちも「話す・聞く」ことを意識して授業に臨むことができた。
- 後期からは、研究授業だけでなく、学校におけるすべての教育活動の中で話す・聞く力を育む手立てとして「話す・聞くステップシート」を導入したり、朝の短時間学習の時間「ひがたかタイム」で楽しみながら語彙を増やす取り組み「ことばのじかん」を実施したりしてきた。
- 来年度は、研究授業・「話す・聞くステップシート」・「ことばのじかん」についてさらに研究を深めていくことにより、子どもたちの「話す・聞く力」を一層高められるようにしていきたい。

安心・安全に心身をはぐくむ環境をつくり支援しよう

- 児童一人一人の実態を把握し、それぞれの特性に合わせた支援や指導ができるよう、支援教育コーディネーターをはじめ、各担任・級外の教職員で情報共有を行いながら、支援にあたった。特に、毎月1回の部会・毎週の打ち合わせ等で定期的な情報共有を意識して行った。
- 今年度から月に1～2回、学校巡回カウンセラーが派遣されるようになり、保護者や児童の教育相談、教職員の校内研修や児童理解の助言などを行った。
- 支援を必要とする子どもたちの支援ニーズを具体的に把握し、複数の教員でそれぞれのケースに応じた指導や支援を行ったり、外部機関と連携したりした。また多様な支援の手立てや方法について校内研修を行い、教員同士で学び合うことができた。
- 学校生活アンケートをもとに、担任が面談を行うことで、子ども一人一人の考えや困っていることを知ることができた。それらを学年で共有し、各学年で頻繁に連携を取りながら対応を行った。今後も学年を中心に、複数の職員で対応にあたるようにしたい。
- 体力向上を目指す取り組みが行われた。運動委員会主催のスポーツ大会が行われ、多くの児童が積極的に参加していた。朝のキラキラタイムの時間を活用して各学年で体育的活動に取り組んだ。また、放課後に設定される校庭開放は、約束を守りながら多くの子どもが遊んでいる。

安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

- 防災・防犯教育では、予告なしの避難訓練を行うなど、様々なシチュエーションで訓練を実施できた。子どもたちは自分で考え、判断し、行動することができた。長期休み前には、各自の児童用非常用持ち出し袋を点検し、袋に入れるものや緊急時の行動について家族と話し合う機会を設けた。子どもたちと一緒に考えることで家庭の防災意識も高まった。
- 学校ホームページは、適時更新することができた。学年ページの他にも、防災・防犯にかかわる子どもの活動や、地域の方に講師として来ていただき学習している様子を知らせることができた。人同士の接触が限られているコロナ禍において、学校の教育活動を広く広報する手段として、とても有効であった。
- 情報モラル教育の取り組みとしては、長期休業の折に GIGA 端末を家庭に持ち帰り、家庭と学校をオンラインで繋ぐ手段としての活用を始めた。クラスごとの SNS のアプリを使って、子どもとのコミュニケーションや宿題のやり取りなどを行った。
- 健康に関しては、初めて学校生活を送る 1 年生を対象に手洗い・マスク着用励行の指導を実施して、健康や衛生や安全に関する知識を深めることができた。また保健委員会では、「ハンカチ・ちり紙をわずれずに！」の動画を制作し、5・6 年生が中心となってハンカチ・ちり紙チェックを 1 年生に行った。また、地域の方に、6 年生を対象に薬物乱用の恐ろしさを教えていただく講話をしていただいた。

～各学年から～

【個別学習室】

- 元気ががんばる子
自分のできそうなことに挑戦し、最後までがんばろう。
- かかわる子
友達と一緒に遊んだり学習したりしよう。
(取り組み)
☆一人一人が具体的な目標をもち、課題を解決していく過程で達成感を味わい自信をもって取り組めるよう工夫して授業を行った。
- ☆交流級担任と個別学習室担任とで連携して学習を行った。個別学習室の児童だけでなく、交流級児童とのかかわりも増え、運動会や学習発表などでは共に学んだり活動したりする楽しさを実感することができた。
- ☆栽培活動では、ゲストティーチャーに教わりながら楽しく活動に取り組めたことで、興味・関心をもって野菜を育てることができた。

【1年】

- 友だちを思いやり 仲よく助け合う子
- 話をよく聞き、よく考え、学習する子
- 楽しく学び、自分の思いを伝えようとする子
- 自分らしさを大切に、明るく元気に過ごせる子
- 何でも最後までがんばろうとする子
- ☆小学校生活を楽しく、自信をもってスタートさせることができるよう、人とのつながりを大切にする活動（共育*共生プログラムやキャリア教育）や道徳教育に取り組んだ。
- ☆楽しくわかる授業づくりを工夫し、先生や友達の話聞いて思いを受け止めたり、自分の思いをもって考えたりする授業を展開した。
- ☆一人一人を大切にして、できたことを共に喜び、楽しく学ぶことができるように学習を進めた。運動会や学習発表会などを通して、学級・学年全体で力を合わせて、達成感を味わったり喜びを分かち合ったりできた。
- ☆学年で力を合わせて様々な活動に取り組み、最後まであきらめず頑張る経験を重ねた。

【2年】

チャレンジ！オレンジ！明日へジャンプ！

- 自分の考えをもち、みんなに伝えよう！
- 新しいこと、苦手なことにも挑戦しよう！
- できること、得意なことを増やして3年生へ！
<取り組み>
☆子どもたちの思いや考えを大切にしながら学習や行事の計画を立て進めることで、子どもたちが達成感を得ることができた。子どもたちのがんばりを認めていくことで自信につながった。
- ☆学級の枠にとらわれず、学年全体で共通理解を図り、学年担任や支援教育コーディネーターが協力しながら支援していくことで、子どもたちの安心・安全な学校生活につながった。
- ☆野菜名人や打楽器の先生等、ゲストティーチャーとの体験的な学習を取り入れることで、楽しみながら学びを深めることができた。

【3年】

- 友だちと助け合い、3年生のチームワークを大切にしよう
- 自分の目標をもって、最後までがんばろう
- 進んで取り組み、自分の考えを伝えよう
- 自分も友だちもまわりの人も大切にしよう
- 自分の住んでいる地域を知って、好きになろう
<取り組み>
☆年間を通して実行委員を設け、責任をもち、自主的に活躍できる場を設定してきた。
- ☆総合的な学習の時間や社会科での探究活動を通して、地域の方々と進んで関わり、人とのふれあいを大切にした授業を展開した。
- ☆共育*共生プログラムを通して、友達との関係づくりについて学び考えることができた。
- ☆しっかり話を聞くことに力を入れ、自分の考えをもって発言したり行動したりできるようにした。授業の中で、友達と考えを伝え合う経験を積むことができた。

【4年】

～よく考え、試し、高みを目指す四年生～

- 友達のことを考え、仲良く協力し合おう
 - よく聞きよく話しめあてに向かって行動しよう
 - 進んで運動や学習に取り組み、何事も好きになろう
 - 自分の住んでいる地域とかかわり、見方を広げよう
- ☆年間を通して、一人一役の実行委員を設け、めあてや活動内容、活動時期を自分たちで考え、見通しをもって活躍していける場を設定した。みんなのために責任をもって一生懸命取り組む姿が見られた。
- ☆学年行事や学年集会を通して、みんなで協力し、責任をもってやり遂げる自信や充実感がもてるよう取り組んできた。「ごんぎつね」の校内発表や学芸大会を通して、表現する楽しさや学年全体で一つのものを作り上げる達成感を味わうことができた。
- ☆校外学習に出かける時やゲストティーチャーに来ていただく時は、時と場を考えて行動するよう指導してきた。社会科見学や総合的な学習の時間などで地域の人のかかわりを通して、場に応じた行動や言葉遣いを意識できるようになってきた。

【5年】

- 自分も仲間も思いやり、大切にしよう。
 - よく聴き、よく考え、めあてに向かって行動しよう。
 - 進んで考えを伝え合い、互いに高め合おう。
 - 自分のよさを認め、心も体も健康でいよう。
 - 東高津の地域に住む一員としての自覚をもとう。
- ☆自然教室などの行事では、学年全体での活動も多く、子どもたちはたくさんの仲間と関りをもちながら活動できた。
- ☆共生*共育プログラムをはじめ、あらゆる場面で認め合う機会を設けたことで互いのよさに気づき、思いやりの気持ちを養うことができた。
- ☆一人一人がなりたい自分になるためのめあてをもつことで自身の成長を実感することにつながった。
- ☆委員会活動や実行委員では、子どもの考えを取り上げて実行するようにしたことで、学年や学校を動かしているという責任感や自覚をもつことができた。

【6年】 「継(つなぐ)」

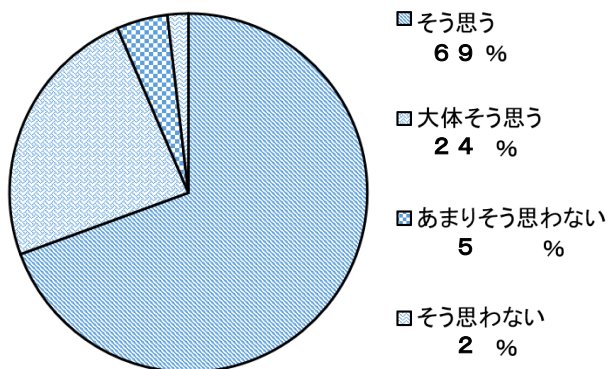
- 継承する
今までの6年生の姿をそれぞれが思い出し、その素晴らしい姿を自分たちが受け継ぐ。
 - 絶えないように前からあるものに付け加えて補う
受け継ぐだけでなく、よりよい学校生活になるよう様々な場面において自分達で考え付け加えていく。
 - 連続していないものをつなぎ合わせる
下級生が受け継げるように、最高学年という意識を常にもって行動する。
- ☆「継(つなぐ)」という学年目標のもと、下級生の手本となるようにと、最高学年であるという自覚をもって、自分達の役割をしっかりと果たすことができた。
- ☆役割を果たすだけでなく、自分たちで課題を見付け、それに対して解決方法を考えて行動に移す頼もしい姿も多く見られた。



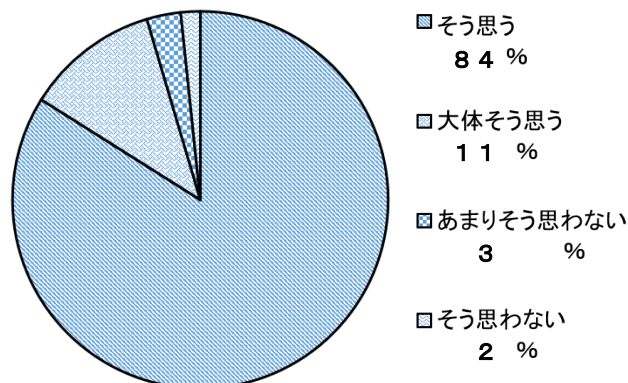
学校生活アンケート（児童）より

12月に全校児童に学校生活アンケートを実施しました。学校生活の様子を振り返りながら、今の自分のこと、学校での生活について感じていること、思っていることをまとめました。アンケート結果を分析していきながら、これからの学校教育の在り方について子どもたちと一緒に考えていきたいと思えます。

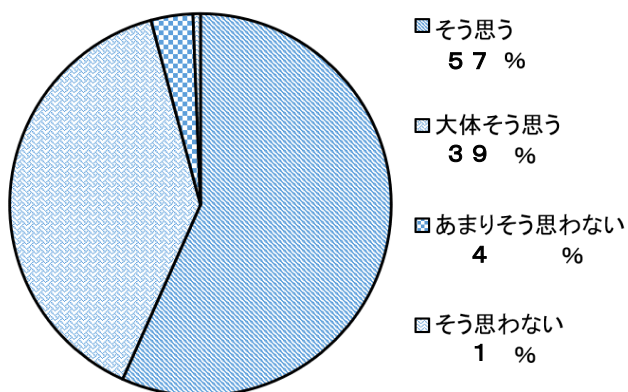
①学校生活は楽しい



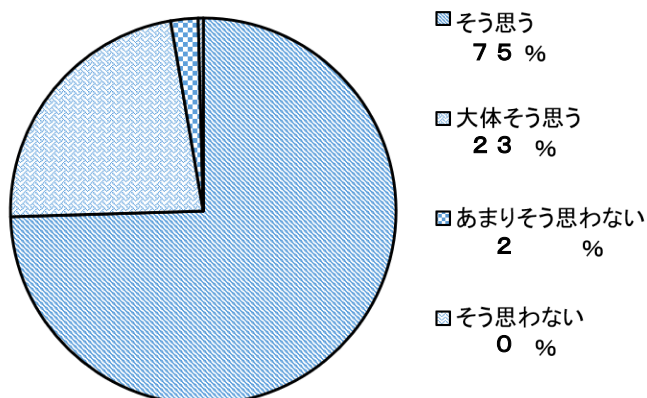
②学校で友達と遊んだり、一緒に活動したりしている



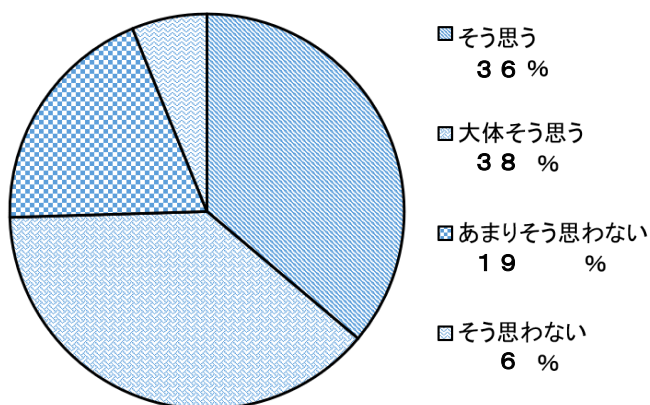
③あいさつしたり、約束を守ったりして過ごしている



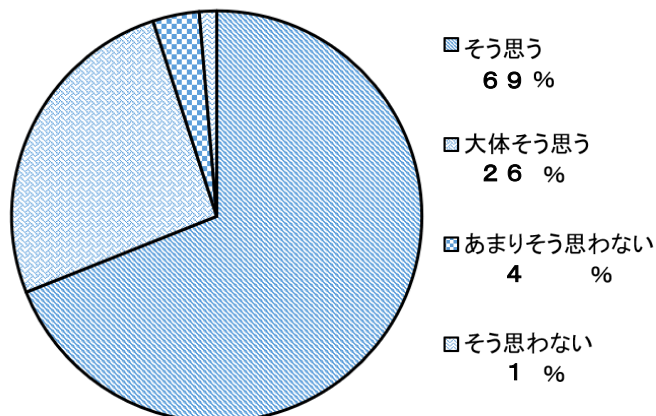
④仲良く助け合い、友達を大切にしている



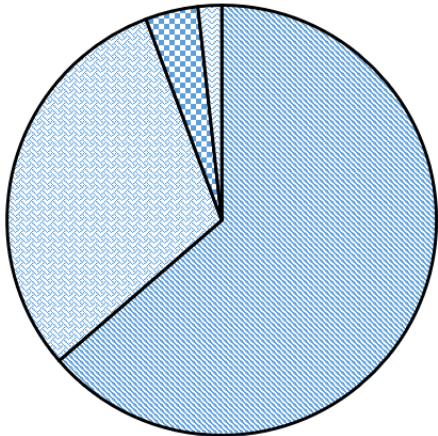
⑤自然や社会とかかわる体験活動やみんなの前で発表する活動が好きだ



⑥みんなのことを考えて、係や委員会や当番の仕事をやっている

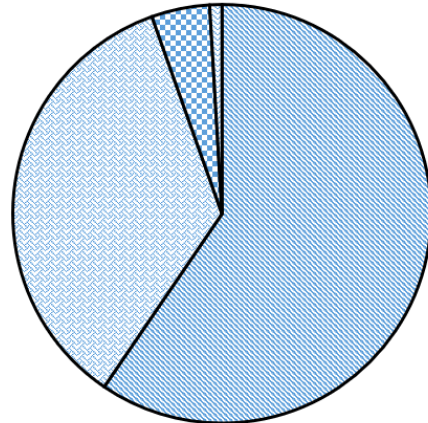


⑦学校の勉強が分かる



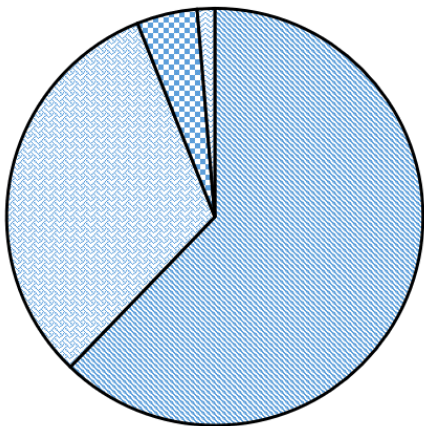
- そう思う
64%
- 大体そう思う
31%
- あまりそう思わない
4%
- そう思わない
2%

⑧自分の意見を出したり友達の話
を聞いたりして学んでいる



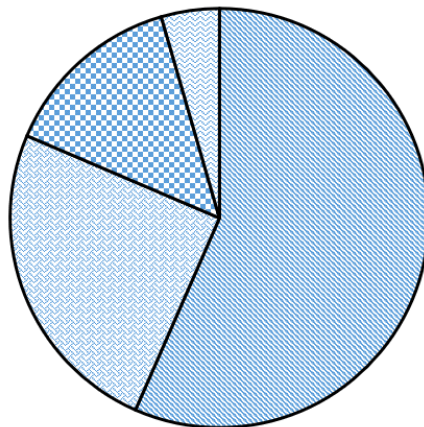
- そう思う
60%
- 大体そう思う
35%
- あまりそう思わない
4%
- そう思わない
1%

⑨学習のめあてをもって、がんばろうと
思っている



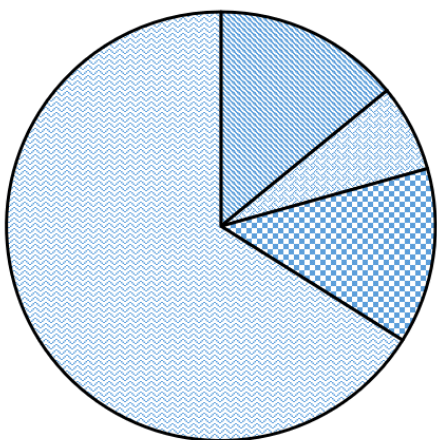
- そう思う
62%
- 大体そう思う
32%
- あまりそう思わない
5%
- そう思わない
1%

⑩キラキラタイムで運動したり、休み時
間に外で遊んだりしている



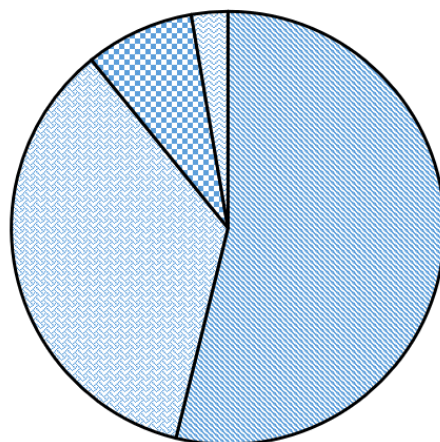
- そう思う
57%
- 大体そう思う
25%
- あまりそう思わない
14%
- そう思わない
4%

⑪放課後の校庭開放で元気に遊んでいる



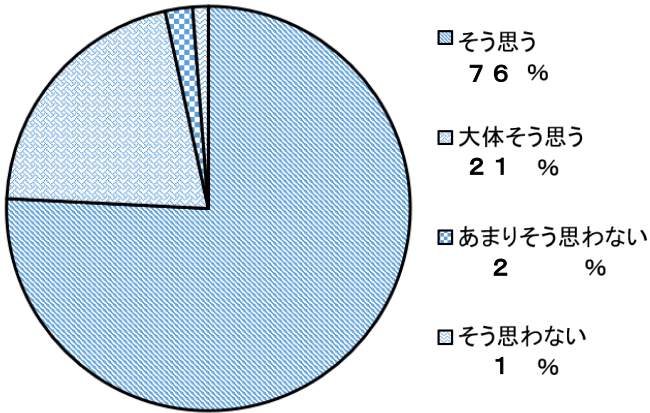
- そう思う
14%
- 大体そう思う
7%
- あまりそう思わない
13%
- そう思わない
66%

⑫校舎は気持ちよく使いやすい

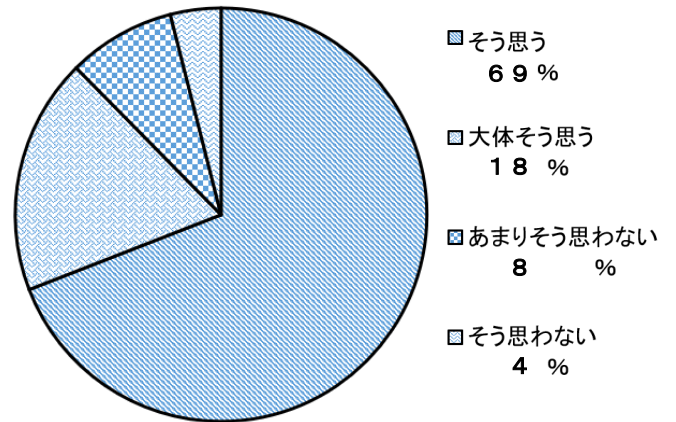


- そう思う
54%
- 大体そう思う
35%
- あまりそう思わない
8%
- そう思わない
3%

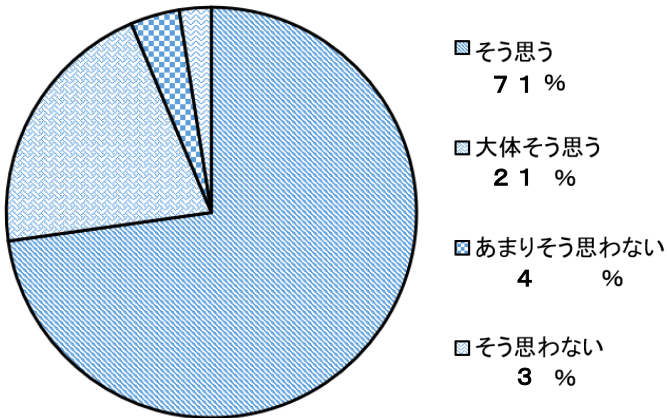
⑬安全や健康に気をつけて、生活している



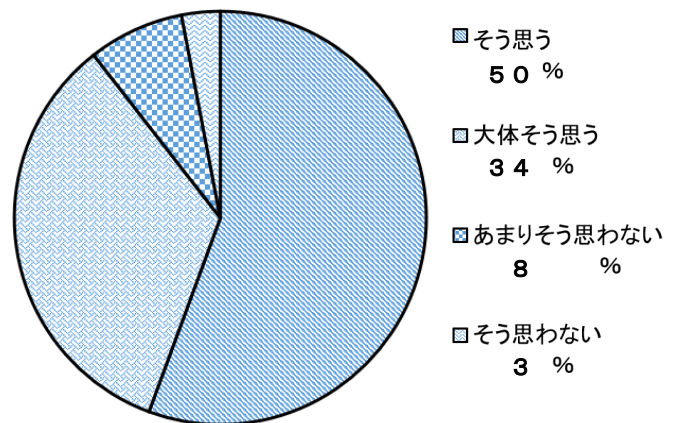
⑭図書室を利用したり本を読んだりするのが楽しい



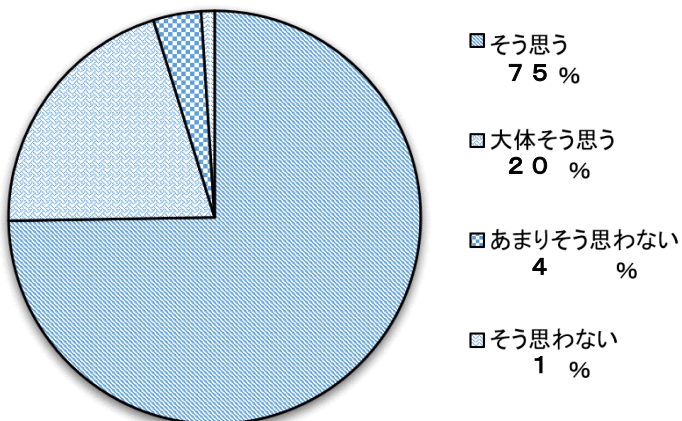
⑮GIGA 端末を使って調べたり友達と関わったりすることが楽しい。



⑯地域の方からお話を聞いたり学んだりするのは楽しい



⑰先生は、話を聞いて相談にのったり、アドバイスをしたりしてくれる



子どもアンケート記述から（一部）

<東高津の良いところ>

- ・みんなでなかよくするところ。・知らない子と友だちになれる。
- ・あいさつがしっかりとできているところ・掃除がしっかりとやっていて、部屋がきれいになっていること
- ・みんな元気にあいさつやわからないことは、教えあいができる。
- ・色々な意見が聞ける。・みんなたすけあっていてわからないものがあるときすぐたすけてくれる。
- ・友達でも違う学年の人も親切なところ
- ・他クラスや他学年との交流が多く嬉しいし、先生たちだけで何もかも決めるのではなく、生徒の意見をしっかりと聞くところ。
- ・友達、先生はみんな優しいし、おたすけカードは気軽に話せて、とても毎日楽しいです^^;
- ・色々な体験があり、自然や歴史に触れやすい。授業や場所のことをなにかに例えて教えてくれる広々していて開放感がある。また、校庭が広くて楽しい。

<先生に相談したいところ>

- ・やる気がでないときにするといいことはなんですか？きずつくことをいわれる。
- ・授業に集中できない、授業で分からないことがある
- ・友達に強い言い方で言われることがあります。
- ・あいさつがはずかしくてできないときどうすればいいですか？

<アンケートの考察> ※アンケートから見られる顕著な部分だけを載せています。

・今年度も、昨年度と同様に、学校生活は楽しいと感じていることがアンケートから分かります。友達と関わったり、一緒に活動したりすることに楽しさやうれしさを感じながら、意欲的に学校生活を送ることができているようです。個別の記述を見ると友達ともめてしまうこともあるようですが、友達同士や、先生との話し合いを通して、解決に向けて動き出せるようにしています。

・学習に関しても、めあてをもって取り組んでいる様子がアンケートからも分かります。自分の意見を出したり、友達の話の聞いたりすることを大切にしながら、学習に取り組もうとしています。学校での学習に対しての、難しいと感じることもあります。友達との学び合いを大切にしながら粘り強く取り組む姿勢が伝わります。また、係や委員会活動、給食などの当番活動にもまじめに取り組もうとしています。みんなで使う教室を協力しながらきれいにしたり、クラスや学年をより良くしたりするための活動に対して前向きに取り組もうとしています。

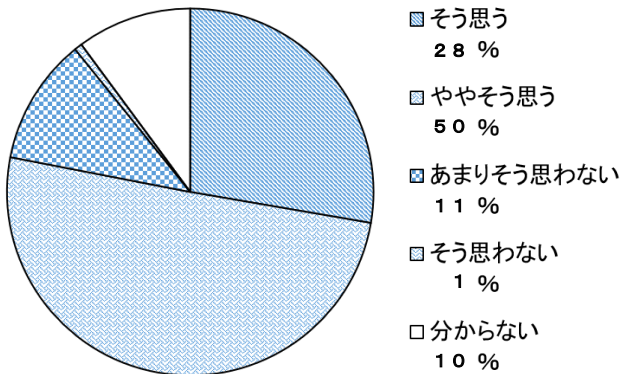
・GIGA 端末を活用しての活動に意欲的な結果が出ていました。GIGA 端末を用いての意見の交流、動画、写真など、友達との交流を深めるツールとして活躍しています。さらに学習の中で有効活用していけるように、実践の積み上げを図っていきます。

・「そう思う」「大体そう思う」の回答割合が低い項目として、⑤「みんなの前で発表する活動が好きだ」があげられます。⑤に関しては、感染拡大防止の観点から発表する機会が少なくなったことも原因としてあげられます。今年度は学習発表の日など、学んだことをお家の人の前で発表する機会も設けることができました。今後も、感染拡大防止に配慮しながら子どもたちの成長の場として発表する場面、発表する良さを実感できる機会を増やしていきたいと思えます。

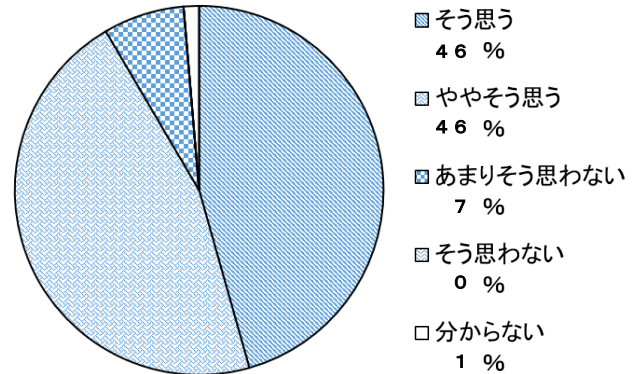
教育活動アンケート（保護者）より

12月に実施した教育活動アンケートのご協力ありがとうございました。4月からこれまでの教育活動について保護者の皆様のご回答いただいたアンケートを分析し、次年度の新たな教育活動計画に生かしてまいりたいと考えています。

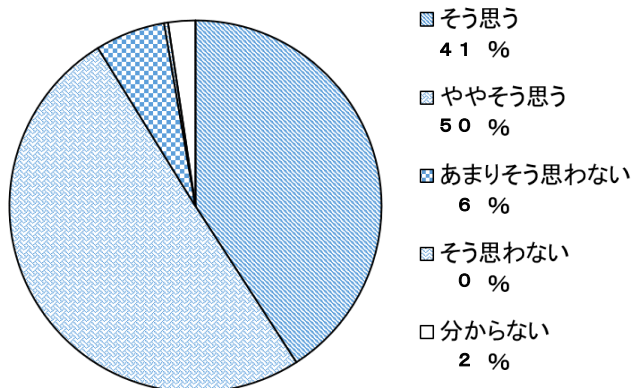
①子どもたちは、「キャリア在り方生き方教育」を通して、希望や目標をもって生きる態度を育んでいる。



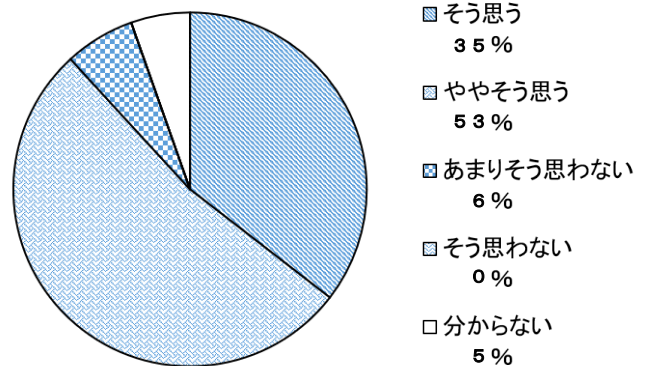
②子どもたちは、人や自然、社会とかかわる体験活動、表現活動の充実を図り、感動する心を育んでいる。



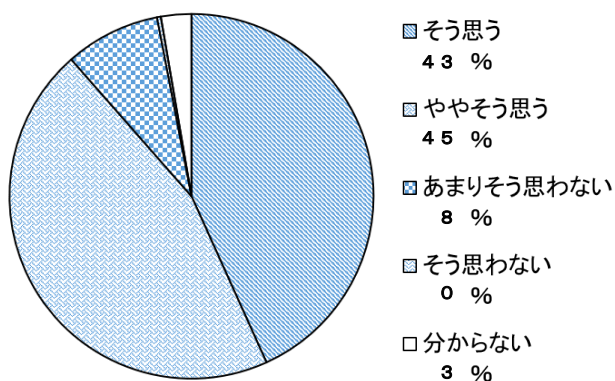
③子どもたちは、道徳教育や特別活動の学習を通して、望ましい人間関係や集団づくりを育んでいる。



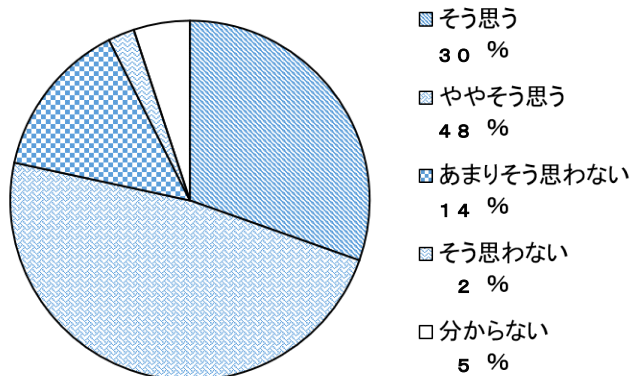
④子どもたちは「共生*共育プログラム」の推進を通して、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育んでいる。



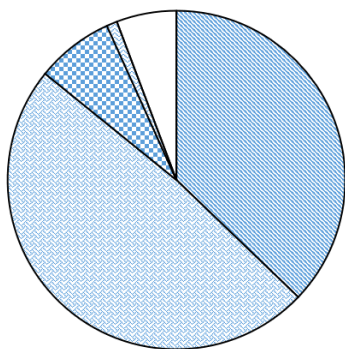
⑤子どもたちは学校生活を気持ちよく過ごし、進んで学べるように取り組んでいる。



⑥子どもたちは一人一人の学習状況を理解され、丁寧に指導をうけている。

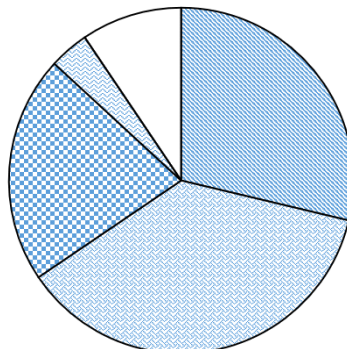


⑦子どもたちは授業のなかで学ぶ楽しさや分かる喜びが
味わいながら取り組んでいる。



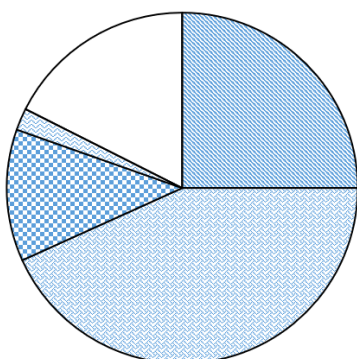
■ そう思う
37 %
■ ややそう思う
49 %
■ あまりそう思わない
7 %
■ そう思わない
1 %
□ 分からない
6 %

⑧子どもたちは週に1度全校で朝の読書タイムに取り組
んだり、図書ボランティアの方々の協力を受けたりし
て、本に親しんでいる。



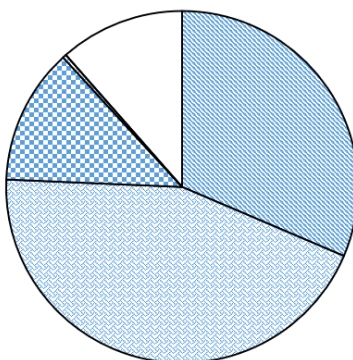
■ そう思う
29 %
■ ややそう思う
37 %
■ あまりそう思わない
21 %
■ そう思わない
4 %
□ 分からない
9 %

⑨学校は、子どもたち一人一人の声に耳を傾け、いじめ
・不登校の未然防止に全教職員で努めている。



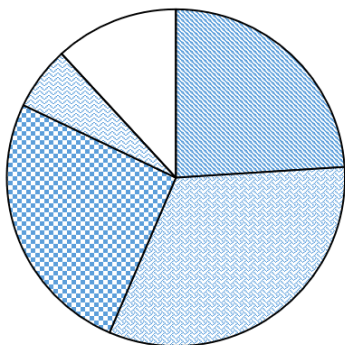
■ そう思う
25 %
■ ややそう思う
43 %
■ あまりそう思わない
12 %
■ そう思わない
2 %
□ 分からない
18 %

⑩子どもたちは、キラキラタイムの活動などを通して体を
動かし、体力向上に努めている。



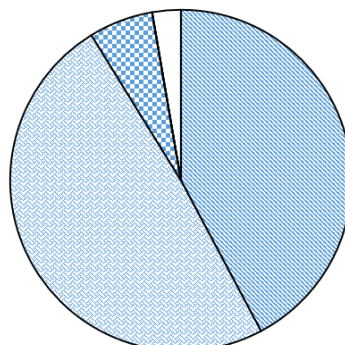
■ そう思う
31 %
■ ややそう思う
44 %
■ あまりそう思わない
13 %
■ そう思わない
0 %
□ 分からない
11 %

⑪子どもたちは、校庭開放の活用により、体を動かす機会
をもっている。



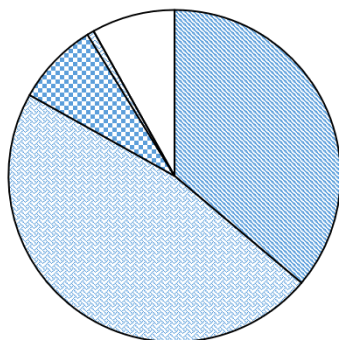
■ そう思う
24 %
■ ややそう思う
32 %
■ あまりそう思わない
26 %
■ そう思わない
6 %
□ 分からない
12 %

⑫子どもたちは学校での防災・防犯教育の推進を通して、
災害や事故から命を守る意識を高めている。



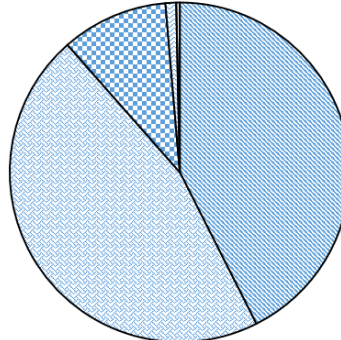
■ そう思う
42 %
■ ややそう思う
49 %
■ あまりそう思わない
6 %
■ そう思わない
0 %
□ 分からない
3 %

⑬子どもたちは、ボランティアやゲストティーチャーと連
携した学習を通して、充実した学習活動ができています。



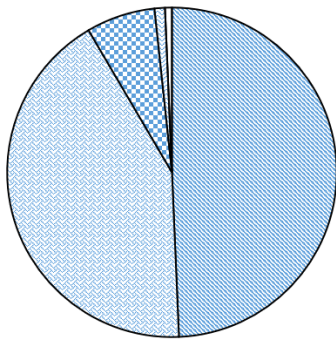
■ そう思う
36 %
■ ややそう思う
47 %
■ あまりそう思わない
8 %
■ そう思わない
1 %
□ 分からない
8 %

⑭学校は、授業参観や行事などを通して、子どもたちの様
子を知る機会を多く設けている。



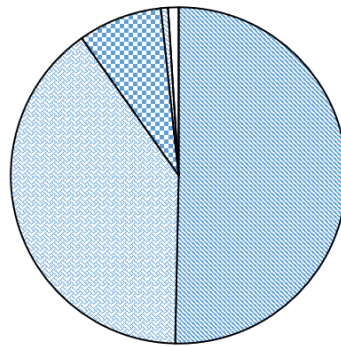
■ そう思う
43 %
■ ややそう思う
46 %
■ あまりそう思わない
10 %
■ そう思わない
1 %
□ 分からない
0 %

⑮学校は、学校だより（ひもも）や学年だより、ホームページなどを通して教育方針や子どもたちの活動の様子を伝える努力をしている。



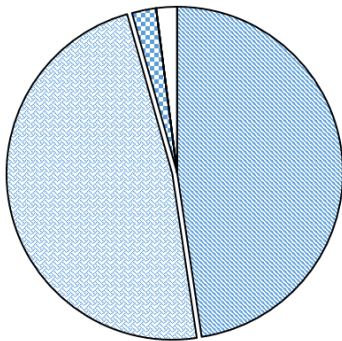
- そう思う
49 %
- ややそう思う
42 %
- あまりそう思わない
7 %
- そう思わない
1 %
- 分からない
1 %

⑯学校は、懇談会、個人面談などを通して担任等と話し合える機会を多く設けている。



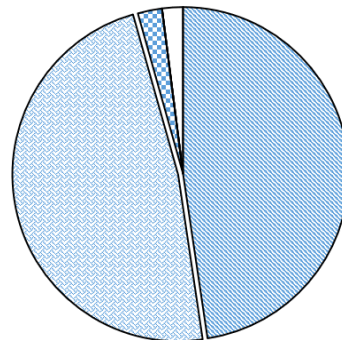
- そう思う
50 %
- ややそう思う
40 %
- あまりそう思わない
8 %
- そう思わない
1 %
- 分からない
1 %

⑰家庭では、学校の教育活動について理解し、協力するようにしている。



- そう思う
48 %
- ややそう思う
48 %
- あまりそう思わない
2 %
- そう思わない
0 %
- 分からない
2 %

⑱家庭では、社会のルールや人を思いやることについて子どもたちによく話をしている。



- そう思う
59 %
- ややそう思う
38 %
- あまりそう思わない
3 %
- そう思わない
0 %
- 分からない
0 %

保護者アンケート記述から（一部）

<東高津小学校のよいと感じている点>

- ・先生方がいつもあたたかく見守って下さり親子共々安心して毎日過ごさせて頂いております。子どもの表情からも楽しい学校生活が伝わってきます。いつもありがとうございます。
- ・担任の先生がこどものことをよく把握されていて、都度情報を共有いただき家庭との連携が図れている点
- ・学校公開や授業参加など子ども達の様子を知る機会を多く取り入れている。幅広い交流や体験授業などでより実践する学習として学べるのは良いと思います。
- ・昔からのやり方にこだわらず、コロナ禍になってから割と柔軟な対応が出来ている印象。
- ・他学年交流や、委員会クラブ活動などで上級生が下級生の面倒をみたり思いやったりする気持ちを持てるように指導されていると思う
- ・子供たちがすごく素直だなと感じるのは先生たちの指導なのかなと思います。ずる賢いとかそういった感じではなくすごく素直だなと感じます。

<学校教育目標の実現に向けてのアイデア>

- ・家族でいろいろな話題について話し合うことも良いと思いました。
- ・子ども達がこの目標に向けてのどんな事をしたら良いのかテーマを考え、それぞれクラス等で話し合いそれを学校全体の中で発表する場を設ける。また、半年後等にそれをやってみてどうだったかの報告会等もやってみてもいいのかな？と思いました。
- ・コロナ禍中心の学校生活だったので、これからは校外学習に積極的に参加し、地域的な防災や発展を学んで、地元愛が深まれば良いなと思います。